



☆ AWC事務局便り 2月号 ☆

トライブラリープロジェクト

2018年2月8日に日本おもちゃ図書館財団から贈られたおもちゃをチェンライ県のローチョー村保育園、ドインガム村保育園の2箇所の子供達に手渡しました。

これらの保育園には、幼稚園に上がる前の2歳～4歳の子供達が預けられています。両親は朝から畑仕事に行ってしまうため、祖父母に送られて登園してくる子がほとんどです。ちょうど朝の登園の時間帯におもちゃを届けたので、機嫌が悪くて泣いて登園してくる子供達も、「日本から新しいおもちゃがきているよ。」という先生の声に泣き止み、おもちゃに飛びつき、とびきりの笑顔で夢中になって遊んでいました。

特に日本の知育おもちゃは大人気で、最初は真面目な顔で遊び方を試し、遊び方がわかると子供同士であれこれ話し合いながら、いろんな遊び方を試み、上手にできたり、面白くできたりするとキャッキョと嬉しそうに笑い声をあげていました。また、ブロックの箱に描かれた車や動物の見本を見て、大興奮で「こんなのを作りたい！」と一生懸命組み立てている姿が印象的でした。

山の生活は、道路が通り便利になった場所も増えてきましたが、まだまだ小学校や中学、高校が遠くにある村が多く、比較的早い段階で親元を離れ、寮に入るケースも多いです。そのため、保育園は子供達が簡単なタイ語を覚え、集団生活のルールを学ぶ大切な場所でもあります。こうした場で、おもちゃを通して、子供達の創造力をより豊かにしていくことが、子供達の将来や山の村の将来をよりよくしていくことにもきっとつながると感じた訪問でした。



逗子トモイクフェスティバル

逗子トモイクフェスティバルは、30年後の未来に向けて、共に学び、共に育つ「共育のまち」の実現を目指して、大人も子どもも、共に知り・体験し・学び・響き合う場を創造しようというものです。

AWCは、「タイ山岳民族の子どもたち」と題し、民族衣装の試着、カレンシルバーのアクセサリ作りのワークショップを実施します。色鮮やかな民族衣装の試着を体験してみませんか？インスタ映えの写真も撮れます。



多彩なワークショップやライブ、逗子で人気の飲食店の出店もあります。ご来場お待ちしております。

逗子トモイクフェスティバル

—30年後の未来に向けて—

日時：2018年3月24日(土)・25日(日)

10:00～16:00

場所：逗子文化プラザ市民交流センター

JR「逗子」駅より徒歩5分

京浜急行「新逗子」駅より徒歩2分